

# 平成26年度 学校経営計画

練馬区立石神井東中学校

校長 堀井安伸

## 1 教育目標

人権尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、社会性や人間性豊かな生徒の育成を目指し、次の目標を設定する。

◎思いやりの心を持てる人      ◎自ら学び、考え行動できる人      ◎心も体もたくましい人

## 2 学校経営のビジョン（中期経営目標）

めざす生徒像	<p>①思いやりの心を持てる人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の違いや良さを認めることができ、相手の立場や気持ちを思いやれる生徒</li> <li>・規範意識や社会性を身につけ、集団や地域、社会に貢献しようとする生徒</li> </ul> <p>②自ら学び、考え行動できる人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎、基本の学習内容を確実に身につけてそれを生活に活かそうとする生徒</li> <li>・進んで学び、課題を発見し解決していける力を身につけようとする生徒</li> <li>・<b>自身の将来の夢や目標を持ち、その達成のために意欲的に学べる生徒</b></li> </ul> <p>③心も体もたくましい人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身を鍛え、自らの心身を健康で安全に保とうと努力する生徒</li> <li>・<b>自己肯定感・自己有用感をもちたくましく生きようと努力する生徒</b></li> <li>・自らの生活を管理し、より良い自己を築いていこうと努力する生徒</li> </ul>
めざす学校像	<p>①人権教育の充実を目指す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の充実、道徳授業の充実を通して豊かな心の教育を目指す</li> <li>・生徒一人一人の心に寄り添える教育相談、特別支援教育のさらなる充実を目指す</li> </ul> <p>②学力向上を図るための授業力向上を目指す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育の実践を基に授業改善を図り学力向上を目指す</li> <li>・一人一人の個性を尊重し、個々の能力の伸長を図る授業を目指す</li> </ul> <p>③豊かな人間性を育む生活指導を目指す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の適正な人格形成の基礎となる基本的な生活習慣の定着を目指す</li> <li>・生徒の規範意識を向上させ、社会人として必要な社会性の修得を目指す</li> </ul> <p>④主体的な自己実現を促すキャリア教育の充実を目指す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会、委員会活動を活性化し生徒の主体性の向上を目指す</li> <li>・体験の場となる進路指導、総合的な学習の時間の充実を目指す</li> <li>・感動できる学校行事の創造と部活動のさらなる充実を目指す</li> <li>・社会生活のもととなる言語表現能力の確実な育成を目指す</li> </ul>
めざす教師像	<p>①学校経営への参画意識を持ちサービスの厳正に務める教師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの「求められる教師像」を常に意識し向上心がある教師</li> <li>・体罰等の服務事故を絶対に起こさないという強い意志をもつ教師</li> <li>・組織の一員としての自覚を持ち自己の責任を果たす教師</li> </ul> <p>②公平性、正当性、誠実性を重んじ、生徒、保護者から信頼される教師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の見本となり尊敬される言動を心がけ人間として暖かみのある教師</li> <li>・常に生徒理解に務め、生徒一人一人の実態に即した指導ができる教師</li> <li>・常に生徒、保護者の心情を理解し粘り強く対応できる教師</li> </ul> <p>③危機管理意識が高く、専門性を磨き豊かな人間性を身につけようとする教師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題意識をもち、常にその解決に困難な状況を乗り越えようと努力する教師</li> <li>・常に自身のキャリアアップを目指し研修をする教師</li> <li>・自身の心身の健康管理を心がけ職責に対して生き甲斐を持てる教師</li> </ul>

### 3 学校の現状と前年度の成果と課題

#### <学校の現状と成果>

- 生徒数が多いことで様々な活動において切磋琢磨ができ人間力を高める環境にある。
- 各種の学校行事を活発に活動し、満足感、充実感が高く、感動体験を与えている。
- 保護者、地域の理解と協力は得られており、概ね学校の支援者である。
- 組織の各教員が適切な役割を担っており、組織として確立している。

#### <課題>

- 保護者は教育活動全体については肯定的だが、教育の質については不満の意見がややある。
- 地域行事への参加等、連携をさらに強化し「地域の学校」を確立させる必要がある。
- 適切且つ迅速な課題解決に向け、学年・学校としての組織力のさらなる向上が必要である。

#### <生徒の現状と成果>

- 9割以上の生徒は明るく生き生きとして礼儀や規範意識が身についている
- 全般的に授業規律等は9割以上確立しており、校内暴力等の課題は少ない。
- 行事や部活動には、積極的であり真摯に取り組み、大きな成果をあげている。

#### <課題>

- 人権感覚の不足、主体性、自尊感情、自己有用感等、年齢に応じた成長が不足しているなど、特別な支援を必要とする生徒が増加しつつあり、特別支援を基調とした具体策が必要である。
- 生徒数が多いことで、課題が多岐にわたり個別指導に継続的、組織的な具体策が必要である。
- 自己肯定感や自己有用感が不足してる生徒がおり、将来の夢や目標を持たせる指導が必要である。

#### <教師の現状と成果>

- 教員としての使命感をもち、指導力がある教員が多く、改善への努力を惜しまない。
- 生徒の主体的な活動を支援し、適切な指導をしている。
- 教員同士は、課題解決に向かうときの共同の精神が強く、教職員間は良好である。

#### <課題>

- 生徒の特性、社会の変化、教育界の変化、都や区の教育施策に対して主体的に対応する姿勢を維持するために、意図的・計画的な校内研修の充実が必要である。
- 若手の育成が緊急的な課題であり、明確且つ組織的な OJT による育成が必要である。

### 4 本年度の経営方針

これまでの経営方針「新たな前進」の3年間で終了した。その実践によって得られた成果は、確実なものになりつつあり、本校の新たな伝統として築き上げることができたと考える。それは、特別活動の充実やいじめ・不登校の減少や人権教育の充実等である。そこで、これまでの教育実践を継承しながらも新たな課題を加え下記のような「4つの柱」を定め実践していくこととする。

第一に、人権教育先進校に学びつつ**人権尊重の精神の育成を図る。**

第二に、小中一貫教育の実践を通して、様々な課題に対する解決策を発見し**学力向上を図る。**

第三に、主体的な研鑽を積み生活指導の質を高め、社会人としての**規範意識の向上を図る。**

第四に、キャリア教育の質を高め、主体的に**夢や目標を達成しようとする心の向上を図る。**

そして、この一つ一つにおいて先進校の実践を学びつつ、本校の特色ある教育活動を確実にを行い、教育目標の具現化を図っていく。

また、地域の中にある学校として、「目指す学校像」を達成する過程において、地域住民や学校評議員・PTA 等保護者の教育力を活かし、生徒を安心して通わせることのできる地域から信頼される学校づくりを進める。

さらに、新たに発生してくる課題解決に向け、明確な目標と確実な実践を推進し、その結果に対する検証を励行するという PDCA サイクルを充実させ、確実に成果を上げることが重要であると考え。

そこで、本年度の経営方針を次のようにする。

#### <さらなる教育力の向上と確実な実践>

これを受けて、下記のとおり、全ての教育活動を推進しつつ、本年度の重点目標、達成基準、具体的な方策をもち教育活動を確実に展開していくものとする。

## 5 本年度の重点目標（短期経営目標）

### ①人権教育を推進し、自他を尊重する心の育成

本年度の成果目標		検証方法
自他の生命を尊重し正義を愛する心の育成		事後および年度末のアンケートと感想文
＜目標実現に向けた取り組み＞		
項目	達成基準	具体的な方策
いのちを大切にす る心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちの大切さについての理 解度を100%にする。</li> <li>・いじめ被害「0」を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いのちの授業」を全校生徒対象に年1回 以上実施し感想文を書かせる。</li> <li>・いじめ防止にかかわる具体的な実践を行 い、早期発見、厳しく対応する。</li> </ul>
自己肯定感・自己有 用感を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業の充実度を80% 以上にす</li> <li>・交流活動・職場体験等の充実 度80%以上にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画の完全実施と校内研修を行い、 公開を年2回実施</li> <li>・体験活動の企画立案において充実度向上 を意識し、確実に実施。</li> </ul>

### ②授業改善による学力の定着及び学力向上

本年度の成果目標		検証方法
基礎学力の確実な定着と応用力の育成		事後および年度末のアンケートと感想文
＜目標実現に向けた取り組み＞		
項目	達成基準	具体的な方策
授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力を10ポイント以上向上 させる</li> <li>・授業評価項目「わかりやすい」 を90%以上にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育の課題改善カリキュラムの作成。 2回の研究授業。少人数授業の充実。</li> <li>・7月と12月に生徒による授業評価を行 う。9月に授業改善プラン完成。</li> </ul>
家庭学習の定着 教養ある生徒の育 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する主体性の向上度 を70%以上にす</li> <li>・全生徒が年間5冊以上の読書 を達成させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補習等における外部人材の活用と日々の 学習習慣の定着を図る対策の工夫。</li> <li>・毎朝の石東タイムの実施と図書室の充実。 毎月の啓発活動を実施。</li> </ul>

### ③生活指導を充実させ、基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成

本年度の成果目標		検証方法
基礎・基本の生活習慣の定着と規範意識向上		中間および年度末のアンケートと学力調査
＜目標実現に向けた取り組み＞		
項目	達成基準	具体的な方策
生活習慣の定着と 社会性の修得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいうえお」の実践の達成感 を80%以上にす</li> <li>・「早寝早起き朝ご飯」の定着度 を70%以上にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導部、生徒会の取り組みを中心に 全校体制で啓発を強化。</li> <li>・毎回の保護者会、学校だより、朝礼講話、 生徒会活動等で啓発。</li> </ul>
規範意識の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や集団への貢献度感を 80%以上にす</li> <li>・社会や学校のルールを遵守し た生徒を90%以上にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携したクリーン運動の実施。地域 行事ボランティアを推奨。</li> <li>・主体的に自身の生活を管理できるよ うにするために生徒会や学級活動を充実。</li> </ul>

### ④キャリア教育を充実させ、主体的な自己実現に取り組む生徒の育成

本年度の成果目標		検証方法
達成感、自己肯定感を育み人間力の育成		事後および年度末のアンケートと感想文
＜目標実現に向けた取り組み＞		
項目	達成基準	具体的な方策
特別活動等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事や部活動の充実度、及 び感動度を90%以上にす</li> <li>・夢や目標の実現を目指そうと する生徒を80%以上にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の計画、立案において内容の精選 と工夫を図り各学年の指導を充実させる</li> <li>・キャリア教育を重視した進路指導を充実 させる。</li> </ul>
人間力の育成と健 康・食育に対する意 識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係力と集団の向上度 80%以上にす</li> <li>・自身の健康・食育への関心度 を90%以上にす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QUの実施と、ソーシャルスキルトレ ニング等の活用。</li> <li>・啓発活動を工夫し実施する。学活等 でそれを活用した指導を実施する。</li> </ul>

## 6 評価方法

評価項目	時期	評価者	評価方法
教育活動全般	1 2月	評議員、保護者 生徒 教職員	学校評価アンケート 生徒向け学校評価アンケート（授業含む） 年度末自己評価
授業改善	7月	生徒	各教科授業アンケート
各種行事	事後	生徒、保護者	事後アンケート、感想文等
各体験学習等	事後	生徒、保護者	事後アンケート、感想文等

※生徒・保護者の学校評価は年度末に学校だより、ホームページ等で公開する

## 7 特色ある活動の実践

- ①小中一貫教育研究の推進
- ②「あいうえお」の学校づくり
- ③「フラワーロード」の管理・維持
- ④全教科全生徒による授業評価の実施
- ⑤石東タイムによる朝読書活動
- ⑥道徳授業地区公開講座を年2回実施
- ⑦ミニ講演会、親子地域清掃、餅つき大会、職場体験等体験活動の実施
- ⑧「部活動を支える会」の活性化
- ⑨石東中ならではの学校行事の創造

## 伝統的スローガン

※学 校 「心をひとつに」 （校舎屋上に掲示）

※部活動 「良きプレーヤーである前に良き中学生であれ」 （体育館内外掲示）

## 8 本年度の学校経営の基本指針

### （1）意志決定の判断基準

- 基準1 法令に則っているか
- 2 都教委、区教委の方向性と一致しているか
  - 3 生徒の利益になるか
  - 4 保護者の理解が得られるか
  - 5 教職員の負担が過重すぎないか
  - 6 その他、地域との連携への影響等

### （2）職務遂行上の心構え

- ①教職員間の和を大切にし「心をひとつに」の精神を継承する。（生徒の模範となる）
- ②教員自らが人権尊重の精神を学び、生徒の模範となる。（人権感覚の研鑽）
- ③互いの意見を尊重する。（公正公平な精神で議論する）
- ④組織的な対応のために、「報告、連絡、相談」を徹底する。（どんなに忙しくても）
- ⑤職務に対して「やり甲斐」「生き甲斐」をもてる職場にする。（後ろ向きな発言は禁物）
- ⑥自身の担当職務の責任は必ず果たす。（プロフェッショナルの集団）
- ⑦危機管理意識を高め、必要に応じて改善する意欲を忘れない。（改善策に耳を傾ける）
- ⑧どんなに裏切られても生徒への深い愛情を忘れない。（それが我々の本職）
- ⑨保護者への対応は、保護者の立場を十分理解し、最適な改善策を見いだそうという姿勢で丁寧に行う。（自分が保護者だったらどう思うかをいつも意識する）
- ⑩サービス事故に対して安易な考えを絶対にしない。（自らの存在の重さを感じる）
- ⑪教員自ら来校者に対して先にあいさつをする。（「あいうえお」の率先垂範）